

筆記試験答案 敗因分析

(総監 : 鋼構造及びコンクリート) 2010/01/11

3 . 答案の自己評価

3.1 直接の答案評価

試験結果は評価 B でした。

3.2 答案の敗因 (遠因) 分析

NO.1 出題意図を正確にとらえていなかった。

出題意図については、とらえていたように思います。

NO.2 問題文、図表の意味を十分読み取れていなかった。

正確にとらえていない項目がありました。それは、「(2) 不測の事態が発生したことによる影響」です。工事中断に伴う、発注者、施工業者の影響を書くべきであったと考えます。

NO.3 出題意図の本質的内容(中心)について、十分掘り下げた内容になっていなかった。

文字数も少なく、また、対策については、教育訓練だけで、中身の薄いものになりました。対象とする管理のキーワードをふんだんに取り入れた内容にすべきであったと思います。

設問のうち「その背景にある真の原因を幅広い視野で構造的に捉えて、体系的に記すことが望まれる。」について、自分の答案はこの設問には、全く不十分でした。

NO.4 出題意図と若干違うこと(周辺事項)を正解と考えて、何も疑問に思わずにそれが正解、またはそれも含めて正解だと思って書いてしまった。上記 NO.2 の項目になります。

NO.5 与えられた用語について意味を正しく理解せずに解答していた。

用語の意味の理解度は、間違いではないように思います。

試験時間内での状況及びその原因

- 1) 最初の 1 ページ目は、1 枚の枚数制約があり、そこで文字数がオーバーしたため、半分以上消して、再度書きなおしをした。このため、30 ~ 40 分の時間ロスが生じました。これは、レジユメを書いてそれから答案を書く練習が不足していたと思います。
- 2) 試験勉強において、先生の課題を全て消化していないということもあり、5 つの管理についての、使い方が全く不十分で、頭に浮かんでできませんでした。5 つの管理のキーワードと自分の業務経験を具体的に、表現する練習が必要だと思います。